

SKYTRAX社「2022 World Airline Awards」を受賞

ANA グループは、英国SKYTRAX 社による「World Airline Awards」にて、機内客室の衛生・清潔を評価する「World's Best Airline Cabin Cleanliness」、空港サービス全般を評価する「World's Best Airport Services」、アジアを拠点とする航空会社の中から空港スタッフや客室乗務員によるサービス品質を評価する「Best Airline Staff Service in Asia」の3部門で最も優秀な航空会社として選ばれました。また、「Airline of the Year」では世界4位に選ばれました。

① World's Best Airline Cabin Cleanliness (4度目受賞)

機内客室の衛生・清潔で最も評価の高い航空会社に贈られるアワードです。新型コロナウイルスの影響により世界的に衛生・清潔に関する意識が高まった中、旅を通じたあらゆるシーンにおいて、あんしんで清潔な環境・サービスを提供することをお約束し、大切なお客様とANA グループ社員の双方の健康を守っていくための取り組み「ANA Care Promise」が高く評価されました。



World's Best Airline Cabin Cleanliness



なお現在、機内において以下の取り組みを行っています。

- ・客室乗務員はマスクを着用し、ご希望の方にはアルコールシートやマスクをご用意。衛生面に配慮した機内サービスを提供
- ・機内の換気を徹底するとともに、機内の定期的な消毒を実施
- ・機内のトイレには肘や手首を使ってトイレから出ることができるドアハンドルとロックを導入（導入機材拡大中）

② World's Best Airport Services (9度目受賞)

空港サービス全般で最も評価の高い航空会社に贈られるアワードです。日本のみならず、世界の就航先空港におけるANAのサービス品質の高さが評価されました。搭乗手続きカウンター・ラウンジ・搭乗ゲートなどお客様が過ごす各シーンにおいて、きめ細やかなサービスの提供を心掛けているほか、より便利でスムーズな搭乗を実現するため、以下の取り組みを行っています。



World's Best Airport Services

- ・隈研吾氏監修のもと、成田空港 第2サテライトに新しい「ANA LOUNGE」をオープン
- ・羽田空港・成田空港 国際線「ANA SUITE LOUNGE」にて、「SUITE DINING」を終日提供、および「お食事オーダーシステム」を導入
- ・新サービスモデル「ANA Smart Travel」を展開
- ・ANA Travel Ready（渡航書類事前確認）の展開による出発日当日のスムーズな手続きを実現

ANA LOUNGE
成田空港 第2サテライト「SUITE DINING」
メニューの一例
ANAオリジナル
ハンバーグステーキセット「SUITE DINING」
メニューの一例
寿司5貫セット

③ Best Airline Staff Service in Asia (7度目受賞)

アジアを拠点とする航空会社の中から、空港スタッフと客室乗務員によるお客様へのサービス品質が最も優れている航空会社に贈られるアワードです。空港スタッフ・客室乗務員のサービスレベルが一貫して高いことが評価されました。

- ・最適な対応を考えて「判断」「行動」するだけでなく、お客様が満足されているかどうかを「確認」することのできる人財を育成するための教育を実施
- ・国内空港・海外空港を対象にカスタマースキルコンテストを実施

Best Airline Staff Service
in Asia

ANA Future Promiseの取り組みを紹介します

ANAグループでは、「ANA Future Promise」のスローガンのもと、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、「環境(Environment)」、「社会(Social)」、「ガバナンス(Governance)」に配慮したESG経営を推進しています。今回は「リサイクル」に関する取り組みをご紹介します。

限りある資源を大切に～ビジネスクラスの羽毛布団のリサイクル

機内で使用する寝具やヘッドフォンなどは繰り返し使用し、品質が保てなくなったものは産業廃棄物として処理することになっています。今回ご紹介するのは、機内で使用し、これまで廃棄してきた羽毛布団のリサイクルに関する取り組みです。

◆羽毛布団のリサイクル

ANAの国際線ファーストクラスとビジネスクラスで提供される羽毛布団は、ほつれたり穴が開いたものはこれまで廃棄されてきましたが、羽毛布団を洗浄してリサイクルする取り組みを行っている業者に羽毛布団を引き取ってもらうことで、資源を再利用する仕組みを整えました。

➤ ANA Future Promiseの取り組みについて <https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/ana-future-promise/>



2022年10月以降のホノルル線増便について

平素よりANAをご利用いただき誠にありがとうございます。この度、年末の需要増加にお答えすべく、羽田=ホノルル線は10月30日より週7往復(デイリー運航)、成田=ホノルル線は10月30日より週3往復、12月1日より週5往復、2023年3月6日より週7往復(デイリー運航)へ増便いたします。皆様のご搭乗を心よりお待ちしております。

【羽田=ホノルル線 フライトスケジュール】

月日	便名	路線、スケジュール(現地時間)	運航日	使用機材
10月30日 ～ 3月25日	NH186	【10～12月】 羽田 22:15 ⇒ ホノルル 10:15 【1～3月】 羽田 22:15 ⇒ ホノルル 10:05	7往復/週 (デイリー運航)	◆B787-9 246席仕様 ビジネスクラス:40席、 プレミアムエコノミー:14席、 エコノミークラス:192席 ※1月5日、6日は B787-10 294席仕様にて運航。
	NH185	【10～12月】 ホノルル 13:25 ⇒ 羽田17:40(翌日) 【1～3月】 ホノルル 13:15 ⇒ 羽田17:40(翌日)		

【成田=ホノルル線 フライトスケジュール】

月日	便名	路線、スケジュール(現地時間)	運航日	使用機材
10月30日 ～ 11月30日	NH184	成田 20:25 ⇒ ホノルル 08:25	3往復/週 (水・金・土)	◆エアバスA380型機 520席仕様 ファーストクラス:8席、ビジネスクラス:56席、 プレミアムエコノミー:73席、 エコノミークラス:383席
	NH183	ホノルル 11:30 ⇒ 成田15:45(翌日)		

月日	便名	路線、スケジュール(現地時間)	運航日	使用機材
12月1日 ～ 3月5日	NH184	【12月】 成田 20:25 ⇒ ホノルル 08:25 【1～3月】 成田 20:35 ⇒ ホノルル 08:25	5往復/週 (水・木・金・土・日)	◆エアバスA380型機 520席仕様 ◆B777-300ER 212席仕様 ファーストクラス:8席、ビジネスクラス:68席、 プレミアムエコノミー:24席、 エコノミークラス:112席
	NH183	【12月】 ホノルル 11:30 ⇒ 成田15:45(翌日) 【1～3月】 ホノルル 11:30 ⇒ 成田15:55(翌日)	3月1日～ ◆A380 金・日 ◆B777 水・木・土	

月日	便名	路線、スケジュール(現地時間)	運航日	使用機材
3月6日 ～	NH184	成田 20:35 ⇒ ホノルル 08:25	7往復/週 (デイリー運航)	◆エアバスA380型機 520席仕様 ◆B777-300ER 212席仕様
	NH183	ホノルル 11:30 ⇒ 成田15:55(翌日)	◆A380 火・金・日 ◆B777 月・水・木・土	

* 当日の運航状況により、運航機材、ダイヤなどが変更となる可能性があります。詳細はANA公式ウェブサイトをご覧ください。

INTERNATIONAL

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各国における出入国規制や検疫体制、需要動向等を踏まえ、2022年10月30日から2023年3月25日までの追加分および2022年12月1日から2023年3月25日までの国際線運航計画をご案内いたします。運休・減便に伴い、ご利用のお客様にはご不便をおかけして申し訳ございませんが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【2022年10月30日～2023年3月25日 追加分】

エリア	都市	路線	運航予定便数	前回との変化	備考
北米	バンクーバー	成田=バンクーバー	7往復/週	増便	
アジア ・ アセアニア	ソウル	羽田=金浦	7往復/週(NH861/NH864)	継続	
	台北	羽田=松山	7往復/週(NH851/NH852)	継続	
	香港	羽田=香港	4便/週(月・水・金・土)	増便	

【2022年12月1日～2023年3月25日 追加分】

エリア	都市	路線	運航予定便数	前回との変化	備考
北米	ホノルル	成田=ホノルル	5往復/週(水・木・金・土・日)	増便	12/1～5往復/週(水・木・金・土・日)、3/6～7往復/週 ※1/2、3は運航、1/5、6は運休
		羽田=ホノルル	7往復/週	継続	

* これらの計画は関係当局の認可を前提としています。当日の運航状況により、運航機材が変更となる可能性があります。

* その他、運休または調整中の路線については、ANA公式ウェブサイトまたはプレスリリースをご確認ください。